

実施計画兼評価シート(令和元年度事業分)

事業No.64

【計画ベース】

◎基本情報

事業区分	継続	事務事業名	人権啓発推進事業	担当部署	人権推進課		
総合計画体系				根拠法令 計画など	鳴門市人権条例、鳴門パートナーシッププランⅡ (セカンド)ステージ		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり		事業 期間	開始	平成	6 年度
政策(中項目)	1	ひとにやさしく健康で安らげるまち なんと				終期	未定
(小項目)		人権					
施策	1	人権の尊重					
基本事業	1	人権行政の推進					
<input type="checkbox"/> 第六次総合計画後期基本計画の成長戦略に該当の有無 <input type="checkbox"/> 次期総合戦略掲載予定の有無 <input type="checkbox"/> SRP2020該当の有無							
<input type="checkbox"/> ふるさと納税寄附金等要求 <input type="checkbox"/> ポートレース鳴門まちづくり基金活用予算要求							

◎事業概要(PLAN)

目的	「人権」に関して理解と認識を進めることで、人権侵害や差別問題を解決し、市民と行政が一体となって、互いに助け合い、支え合い、誰もが安心して暮らせる人権のまちづくりを進めていく。		事業 内容 (R1)	①人権セミナー(計3回) ②人権の花運動(瀬戸中学校区の小学校) ③人権スポーツ事業				
実施方針	国の人権啓発活動地方委託金を活用し、人権の花運動、人権セミナー、人権スポーツ事業等、各種人権啓発事業を実施する。		当初 からの 変更点					
指標名			平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
活動指標 <small>実施した事業の活動量を示す指標</small>	1	人権セミナー開催回数	3	3	3	3	3	回
	2							
成果指標 <small>対象にどのような効果があったか示す指標</small>	指標名		平成29年度実績	平成30年度実績見込	令和元年度目標	令和2年度目標	令和3年度目標	単位
	人権セミナーへの参加者数		143	204	300	210	210	人

事業の 実施内容 推移	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	各年度の実施(予定)内容	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③ふれあい人権スポーツ教室の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③ふれあい人権スポーツ教室の実施	①人権セミナーの実施 ②人権の花運動の実施 ③人権スポーツ事業の実施	継続	継続

事業費推移 (千円)	年度	令和元年度			令和2年度	令和3年度
		当初予算額	補正予算額・繰越額	全体予算額		
	計	303	0	303	337	337

事務事業名	人権啓発推進事業
-------	----------

【実績ベース】

◎実施結果(DO)

事業実施内容	令和元年度実施内容	①隣保館・児童虐待・DVをテーマとして人権セミナーを各1回ずつ、計3回実施した。開催時期は他のイベントと重ならないよう調整して実施した。 ②人権の花運動は、対象となる瀬戸中学校区の明神小学校にて実施した。 ③総合型地域スポーツクラブと連携して、放課後児童クラブ等を利用する児童を対象とした人権スポーツ事業を実施し、幼少期からの人権に対する意識啓発を行った。
--------	-----------	--

指標名		平成30年度実績	令和元年度実績	令和2年度目標	令和3年度目標	令和4年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 人権セミナー開催回数	3	3	3	3	3	回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったかを示す指標	人権セミナーへの参加者数	204	210	210	210	210	人
	目標達成率(実績/目標)		70.0				%

事業費推移(円)	年度	平成30年度決算	令和元年度決算			
			前年度からの繰越決算額	決算額	令和2年度への繰越額	最終事業費
	計	306,400	0	279,808	0	279,808
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	286,000	0	275,000	0	275,000
	地方債	0	0	0	0	0
	使用料・手数料	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	20,400	0	4,808	0	4,808

◎評価(CHECK)

今年度の進捗状況		ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		ほぼ計画どおり	
成果指標に対する評価	指標名	人権セミナーへの参加者数		成果指標に対する所見	チラシの増刷を行うとともにウェブサイト等でセミナーを周知したが、目標人数には達しなかった。参加者の増加を含む効果的かつ効率的な事業実施を目指し、今後も多角的な視点で人権セミナーを行う。		
	目標	300	人				
	実績	210	人				
	評価	B:概ね目標を達成できた					

◎今後の方向性(ACTION)

課題	魅力ある人権セミナーを開催するために、市民が身近に感じられるテーマを設定するなどして効果的かつ効率的に啓発を行う必要がある。引き続き、人権啓発活動地方委託金を活用し継続実施できるよう、他課やスポーツ関係団体等とも連携しながら、市民・子ども等に対する人権啓発活動の充実を図っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3

↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。

実施内容	令和2年度	引き続き、人権啓発活動地方委託金を活用し、多くの参加者が見込めるように、現在注目されている人権課題をテーマに、全3回の人権セミナーを実施する。また、各種関係団体等と連携して、人権の花運動や人権スポーツ事業を実施するなど、市民等への啓発活動の充実を図っていく。
	令和3年度	人権セミナー・人権スポーツ事業等を開催し、人権啓発に努める。